

1. 農業者の所得増大、農業生産の拡大

達成度合の評価 ○：達成80%以上 △：達成50%以上80%未満 ×：達成50%未満

重点事項	重点施策の業務活動	達成水準		令和2年度実績	評価 ○×△
		評価指標	目標値		
農業者の所得確保と 農業生産の維持・ 拡大への取組	部会活性化による系統共販率の向上	野菜取扱数量の維持拡大	年31,000トン	28,873トン(93.1%)	○
	契約栽培への取り組み強化	契約キャベツの拡大	年6ha	7.6ha	○
	役職員の個別訪問による集荷体制の強化	実施回数	5月実施	0回(新型コロナウイルス感染症対策により役員同行訪問は行わず、職員のみで訪問)	×
	農産物登録制度による計画生産販売体制の確立	登録面積推進の実施	年1回	5月に職員のみで実施	○
	採種圃事業による優良種苗供給	優良種苗の安定供給	長いも 110a にんにく 20a	長いも 110a にんにく 40a	○
	品別栽培指導による生産技術の向上	講習会・現地検討会の実施	各品目で開催	各品目で講習会、現地検討会を実施	○
	農産物共助会の実施	長いも・にんにく	年1回	青森県にんにく共進会 農優秀賞 馬場 恵美 優秀賞 久田 稔 青森県ながいも共進会 2Lの部 優秀賞 駒澤 真	○
	土壌分析による適切な肥培管理とコスト低減	土壌分析	年340点	321点実施(本店182点、六戸支店139点)	○
	GAP導入に向けたGH農場評価の浸透	講習会の開催	年2回	営農講座(1月)、営農座談会(3月)資料での周知(新型コロナウイルス感染予防により開催中止、資料配布)	△
	消費者との信頼を築く食の安全確保対策	残留農薬検査の実施	年250件	235点実施(本店135点、六戸支店100点)	○
	防除日誌提出の徹底	防除日誌提出率	100%	提出率 本店89.5% 六戸支店80.0%	○
	各メディアを通じた産地としての積極的なPR活動と消費宣伝活動の実施	消費宣伝の実施	年1回	テレビ埼玉リモートでの実施 CM作成(全農あおもり)	○
	生産コストの低減	計画購買による生産資材の安価供給	・定期的な予約注文の取りまとめ実施 ・価格協議	予約注文書による取りまとめの実施	○
	購買窓口対応の充実による利便性の向上	購買担当者研修会・勉強会への参加	購買担当者研修会・勉強会への参加 6回/年	未実施(新型コロナウイルス感染症対策により研修会開催中止のため)	×
	予約注文書の充実	注文書の充実	見やすさ、使いやすさ、防除例の検討	注文書のレイアウトを改善	○
	ニーズに対応した資材の提案型供給の実施	指導部門と連携し訪問し、注文受注	営農指導員、TAC と同行訪問 繁忙期 2回/月	春、秋資材の予約とりまとめ時期に訪問。7月にTACと2回以上訪問実施。2月に大口先へ同行訪問を1回行ったのみで、他は単独訪問実施	△
	肉牛の育種価の高い繁殖牛の導入により、市場価格の高い子牛の生産	10頭の導入	10頭導入	未実施(新型コロナウイルス感染症対策のため) 次年度の実施を検討	×
	各行政のクラスター協議会設置へ向けた取組への連携強化	協議会設立へ向けた検討会への参加	協議会立ち上げ 検討会への参加	三沢市畜産クラスター協議会、おいらせ町畜産クラスター協議会の立ち上げ検討会へ参加	○
	高品質・安定生産対策の推進	目揃え会の実施件数	年1回(品目毎)	各主要品目にて実施	○
	農業者の所得確保と 農業生産の維持・ 拡大への取組	知的財産等の活用による付加価値向上の取組	特産品詰め合わせ「もっさりセット」の販売促進	年260箱	合計 285箱(5kg229箱、2kg56箱)
大玉にんにく「匠にんにく」の販売促進			年110箱	合計 3箱(6玉1箱、4玉2箱)	×
販売促進の定期的な実施		促進会の実施回数	年6回	0回(新型コロナウイルス感染症対策により開催自粛)	×
信用事業での支援		担い手経営体等のニーズに応える農業資金の提供	農業融資新規実行額 260百万円	新規実行額183百万円	△
共済事業での支援	農作業中傷害共済の推進	年32件	新規契約47件	○	
担い手のニーズ把握、労働力支援及び技術向上支援による 強固な農業生産基盤の構築	作業受託事業の実施	水稲防除・長いも防除作業人参加作業 にんにく消毒作業	年1,400h	受託面積 計1,645.3ha 水稲(本店337.7ha 六戸支店1,012ha) 長芋(本店19.6ha 六戸支店48.6ha) 大豆(六戸支店33.6ha)にんにく(六戸支店11ha) 人参(本店125ha 六戸支店57.8ha)	○
	外国人技能実習生の受入・農協方式による労働力派遣・共選施設での効率的な人員確保	実習生の受入	年11名	1年生8名(入国予定) 2年生8名 (新型コロナウイルス感染症対策で1年生入国日未定)	△
	無料職業紹介事業の積極的な展開・繁忙期における求職者の確保・振興ボランティアの活用	求職者の確保	年40名	求職者66名(本店45名 六戸支店21名) マッチング51名(本店39名 六戸支店12名)	○
	TAC活動による担い手ニーズの把握	担い手巡回	年800件	面談921件(本店480件 六戸支店441件)	○
	部門横断会議による情報収集と対応	会議の開催	月1回	10回開催	○
	飼養管理技術向上に向けた牧羊コンクールの開催	年間1回の開催	年1回	令和2年12月に実施	○
	繁殖成績を向上させるための検定の実施	毎月1回の検定	年12回	毎月実施	○
	酪農・肉牛に関する飼養管理、改良改善のための研修会や講習会の開催	年間2回の開催	年2回	1回のみ開催(新型コロナウイルス感染症対策のため)	△
	畜産農家全戸へ毎月1回の訪問実施	毎月1回の訪問実施	年36戸	毎月訪問実施	○
	各共進会への参加による飼養技術の向上	年間4回の参加	年4回	全ての共進会が中止(新型コロナウイルス感染症対策のため)	×
共同施設の適正化による経営基盤の強化	生産・流通コストの低減	各委員会・理事会による検討協議	年間計画により実施	年間計画に基づき実施	○
	共同施設の整備による生産効率化及び利用料等の適正化	各委員会・理事会による検討協議	年間計画により実施	年間計画に基づき実施	○